

学校と保護者、地域を結ぶ



# サルビア

～しだれ桜が見頃の～ 伊勢崎市立赤堀東小学校 令和6年4月19日 第3号

## 学校教育目標について

本校の学校教育目標は、「心豊かにたくましく生きる児童の育成」です。とても大きな目標ですが、子どもたちには、この目標を目指して成長して欲しいと思います。

一つひとつ言葉を区切って考えると、なかなか奥が深いです。

「心豊かに」で頭に浮かぶのはどのような姿でしょうか。笑顔がある、前向きな考えができる、悩みすぎない、相手を許す心の広さがあるなどが、今私の頭に浮かびました。「たくましく」はどうでしょう。大変なときもすぐにはあきらめない、自分でできることは人に頼らない、答えが出るまで粘り強く考えるなどが浮かびました。

これらは、短期間で達成できるものではなく、1年生から意識していないと達成できない姿だと思います。6年間の積み重ねがあってこそ、本物の「心豊かにたくましい」姿になれるのではないのでしょうか。

朝の登校風景で、友だちと談笑しながら、楽しそうに歩いてくる児童の姿があります。特別なことではないかもしれませんが、この子たちは「心豊かにたくましく」生活していると感じますし、卒業まで続けて欲しいなと思います。

日々の生活の、ちょっとした心がけの中に子どもたちの成長につながる活動や習慣があります。家庭と学校とが力を合わせ、成長を支えていけたらと願います。



## 交通安全教室（4月16日）

警察署、交通指導員、PTA役員の方々にご協力いただき、交通安全教室を行いました。4年生は校庭の模擬道路で自転車の乗り方を学びました。1年生は歩道の歩き方を学びました。

日頃の交通安全については、多くの方々の協力を得ながら、登下校の時間に見守っていただいております。しかし、それでも、昨年度は市内の交通事故が増加してしまいました。子どもたちに「自分の安全は自分で守る」意識をもってもらうための指導がますます重要になると思います。

本校の登校風景を見ていると、縁石を歩く低学年児童が見られ、その都度、歩道側に降りるよう指導することがあります。気づくたびに声をかけるなど、学校はもとより地域で見守り、子どもたちと安全の意識を共有できたらと思います。

